

学科名	ブライダル科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
ブライダルワーク									59			
担当教員	萱島 成美				科目区分	講義		演習	40%	実習	60%	
授業目的	ブライダルシーンを魅力的に演出する感性を磨き、様々なアイテムを創造する技術を身につける											
到達目標	・テーマに沿った企画・演出を提案できる											
	・各種アイテムの製作ができる											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	11	基本的なパソコン操作1: Teamsの設定、Wordによる文書作成										
		基本的なパソコン操作2: Excelによる表作成・表計算										
		基本的なパソコン操作3: PowerPointによるスライド作成										
5月	15	基本的な縫製技法: 縫い代のしまつ(まつり縫い、ミシン、ロックミシン)										
		ブライダル小物製作①: リングピロー1										
		ブライダル小物製作①: リングピロー2										
		ブライダル小物製作①: リングピロー3										
6月	17	ブライダル小物製作②: ペーパーアイテム1										
		ブライダル小物製作②: ペーパーアイテム2										
		ブライダル小物製作②: ペーパーアイテム3										
7月	7	ブライダル小物製作③: ウェルカムボード1										
		ブライダル小物製作③: ウェルカムボード2										
9月	9	ブライダル小物①～③仕上げ・まとめ										
		ブライダル小物製作レポート作成・提出										
アプリケーションを利用した動画の作成												
留意事項												
教材、資料等												
適宜プリント・資料を配布する												
評価方法 対象・比重												
パソコン課題30%、製作小物①～③30%、レポート40%												
*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。												



学科名	ブライダル科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
ブライダルワーク									38			
担当教員	萱島 成美				科目区分	講義		演習	40%	実習	60%	
授業目的	ブライダルシーンを魅力的に演出する感性を磨き、様々なアイテムを創造する技術を身につける											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに沿った企画・演出を提案できる</li> <li>・人前式のプランニングを通して、基本的なパソコン操作やアイテム製作を行う。</li> </ul>											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	8	アクセサリー製作 ・テーマのドレスに合わせたアクセサリー作り (ネックレス・イヤリング・ヘッドアクセサリー等)										
11月	8	コサージュ製作 ・リボンを使ったコサージュ・ロゼット作り  人前式プランニング製作										
12月	6	↓ ・お客様に提案したペーパーアイテムの製作 ・マップ ※インターンシップ(12/上旬～12/中旬)										
1月	4	↓ ※インターンシップ(1/中旬～2/初旬)										
2月	6	映像作成 ↓ ・プランニングのお客様へのイメージ動画作成										
3月	6	↓										
留意事項												
教材、資料等												
適宜プリントを配布する												
評価方法												
対象・比重												
パソコン課題30%、製作小物①～③30%、レポート40% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。												

学科名	ブライダル科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
ブライダル論									91			
担当教員	萱島 成美				科目区分	講義	60%	演習	30%	実習	10%	
実務経験のある教員等による 授業科目			○	経験 内容	経験年数:18年 業務内容:ブライダルプランニング会社でレストランウェディングを中心にブライダルプランナー職に従事後、フリーランスのプランナーとして独立。							
授業との関連性			テキストを基に、ブライダル業界の歴史～プランナー業務のノウハウまでを、会場プランナー、フリープランナーの経験を生かし、指導する。									
授業目的	結婚式の歴史・変遷から現在の流行りなど、ブライダル業界に必要な流れやプランナーに必要な基礎知識と											
	アメリカンウェディングの基礎知識や宗教等も学び、プランナーとしてより深い知識を身に付ける。											
到達目標	ブライダルプランナーに必要な知識を幅広く学び、ABC協会主催のブライダルプランナー検定2級合格を目指す。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	17	【ジャパニーズウェディング】 ・日本のブライダル市場 激動する業界変遷、歴史、ブライダル市場の現状やブライダルに関わるビジネス ・結納について ※演習時は復習として議題を出し、レポート作成										
5月	20	【ジャパニーズウェディング】 ・挙式について(キリスト教式・神前式・仏前式・人前式) ・披露宴について(進行・日取り・六輝・演出) ・ペーパーアイテムについて(招待状・席次表の決まり) ・婚礼担当者の役割 ・婚礼料理について ※演習時は復習として議題を出し、レポート作成										
6月	26	【ジャパニーズウェディング】 ・フラワー、ヘアメイク、司会、写真、ビデオ、引出物について 【アメリカンウェディング】 ・準備編Ⅰ ブライダルパーティー、それぞれの役割、写真・ビデオ・衣装等 ・準備編Ⅱ ギフト、メイク、フラワー、ケイタリング、挙式レセプション会場について ・本番編Ⅰ 挙式について ・本番編Ⅱ レセプションについて ※演習時は復習として議題を出し、レポート作成と企画に向けての情報収集										
7月	13	【アメリカンウェディング】 ・ブライダルコンサルタントの環境 ・宗教ウェディング 【ジャパニーズウェディング】 ・ブライダルフェア ・見積もりについて ※演習時は企画に向けての情報収集										
9月	15	【ジャパニーズウェディング】 ・婚礼実務当日(テーブルコーディネート) ・様々なオペレーション業務 ・婚礼売上、入金について ・婚礼実務/当日 ・新規顧客営業 ※特別講義あり2 ※演習時はロープレとレポート作成										
留意事項												
教材、資料等		・全米ブライダルコンサルタント協会 ジャパニーズウェディングテキスト ・ABC協会認定 ブライダルプランナー検定2級過去問題集										
評価方法 対象・比重		・後期試験 70% 授業態度 20% 提出物 10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、 (GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ブライダル科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名								総単位時間数				
ブライダル論								38				
担当教員	萱島 成美				科目区分	講義	60%	演習	30%	実習	10%	
実務経験のある教員等による 授業科目	○		経験 内容	経験年数:18年 業務内容:ブライダルプランニング会社でレストランウェディングを中心にブライダルプランナー職に従事後、フリーランスのプランナーとして独立。								
授業との関連性	テキストを基に、ブライダル業界の歴史～プランナー業務のノウハウまでを、会場プランナー、フリープランナーの経験を生かし、指導する。											
授業目的	結婚式の歴史・変遷から現在の流行りなど、ブライダル業界に必要な流れやプランナーに必要な基礎知識と アメリカンウェディングの基礎知識や宗教等も学び、プランナーとしてより深い知識を身に付ける。											
到達目標	ブライダルプランナーに必要な知識を幅広く学び、ABC協会主催のブライダルプランナー検定2級合格を目指す。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	7	【ジャパニーズウェディング】 ・婚礼実務/当日 ・様々なオペレーション業務 ・新規顧客営業 ※演習時はレポート作成と過去問を行う(8)										
11月	7	・プレゼンテーション能力 ・マーケティング ※演習時はレポート作成と過去問を行う(4)										
12月	6	ABP検定(2級)対策 ※検定問題解答・解説 ※演習時は模擬試験を行う(6) インターンシップ(12/上旬～12/中旬)										
1月	6	ABP検定(2級)対策 ※検定問題解答・解説 ※演習時は模擬試験を行う(2) インターンシップ(1/中旬～2/初旬)										
2月	7	自分がやりたいオリジナルの人前式を考える① ※演習時は情報収集、企画書作成(5) テーマに応じた会場・進行・衣装・ヘアメイク・ブーケ等を考え、 当日までの流れや当日のお客様・プランナー・スタッフの動きまでも考え プランナーとして必要な実践部分を交えながら、企画書を作成していく。 卒業企画発表(受付とサブ的な動きを2年生と一緒にする)										
3月	5	【ジャパニーズウェディング】 ・業界展望と求められる人材像 ・ブライダルビジネスにおけるコミュニケーション ※演習時はロープレとレポート作成(5)										
留意事項												
教材、資料等	・全米ブライダルコンサルタント協会 ジャパニーズウェディングテキスト ・ABC協会認定 ブライダルプランナー検定2級過去問題集											
評価方法 対象・比重	・後期試験 70% 授業態度 20% 提出物 10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	ブライダル科										
分類	必修		選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期
授業科目名								授業時間数			
ブライダルコーディネーター								64			
担当教員	吉永あすか				科目区分	講義	30%	演習	10%	実習	60%
授業目的	ヘアメイクとトータルイメージ、ファッションコーディネーターの授業を通して、ブライダルコーディネーターの基礎能力を高める										
到達目標	ヘアメイクとファッションイメージ分類との関連性を理解習得する										
授業内容(授業展開)											
時期	コマ数	授業内容									
4月	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターの重要性、イメージや好みによる美意識の違いとオケージョンを理解し、ライフスタイルやコーディネーター表現を分類する(デザインの基礎も含む)</li> </ul>									
5月	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアセット・メイク基礎</li> <li>ヘアメイクを学ぶ上での基本的な道具の使い方、ヘアセットの組み立て方、ベースメイク・ポイントメイクを学ぶ</li> <li>・ファッションイメージ分類 イメージメイク理論(イメージマップ作成)</li> <li>それぞれのイメージに合わせたヘアメイクの違いを確認し、トータルコーディネーターの重要性を学ぶ</li> </ul>									
6月	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションイメージ分類 ①ロマンティック(ヘアメイク実技・撮影)</li> <li>・ファッションイメージ分類 ②エレガンス (ヘアメイク実技・撮影)</li> <li>・ファッションイメージ分類 ③ソフィステイクート(ヘアメイク実技・撮影)</li> <li>・ファッションイメージ分類 ④モダン(ヘアメイク実技・撮影)</li> <li>・ファッションイメージ分類 ⑤マニッシュ(ヘアメイク実技・撮影)</li> </ul>									
7月	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションイメージ分類 ⑥アクティブ(ヘアメイク実技・撮影)</li> <li>・ファッションイメージ分類 ⑦カントリー(ヘアメイク実技・撮影)</li> </ul>									
9月	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションイメージ分類 ⑧エスニック(ヘアメイク実技・撮影)</li> <li>・ファッションイメージ分類のまとめ</li> <li>・オケージョン分類</li> <li>シーンに合わせたイメージメイク・ドレスイメージの確認</li> </ul>									
月											
留意事項											
教材、資料等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアメイク道具一式</li> <li>・イメージマップファイル</li> </ul>									
評価方法 対象・比重		<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組姿勢50%</li> <li>・評価テスト30%</li> <li>・提出物20%</li> </ul>									

学科名	ブライダル科											
分類	必修		選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
ブライダルコーディネーター									73			
担当教員	吉永あすか				科目区分	講義	30%	演習	10%	実習	60%	
授業目的	ヘアメイクとトータルイメージ、ファッションコーディネーターの授業を通して、ブライダルコーディネーターの基礎能力を高める											
到達目標	ヘアメイクとファッションイメージ分類との関連性を理解習得する											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	16	オケージョン分類 シーンに合わせたイメージメイク、コメントチェック、ドレスイメージの確認 ヘアメイク実技										
11月	15	ブライダルイメージ(各イメージに合わせて、ドレス、小物、会場、装花などもコーディネートする) ①クラシック ヘアメイクプラン 実技・撮影 ②モダン ヘアメイクプラン 実技・撮影										
12月	14	インターンシップ研修(12月初旬～中旬) ③シンプル ヘアメイクプラン 実技・撮影										
1月	13	インターンシップ研修(1月中旬～2月初旬) ④デコラティブ ヘアメイクプラン 実技・撮影										
2月	7	⑤カントリー ヘアメイクプラン 実技・撮影 ⑥エスニック ヘアメイクプラン 実技・撮影										
3月	8	まとめ										
留意事項												
教材、資料等		・ヘアメイク道具一式 ・イメージマップファイル										
評価方法 対象・比重		・取組姿勢50% ・評価テスト30% ・提出物20%										

学科名	ブライダル科										
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期
授業科目名								授業時間数			
フォーマル								14			
担当教員	北崎 秀子				科目区分	講義	70%	演習	30%	実習	
授業目的	セレモニーの企画・運営に必要な知識と技術を修得するために、主にフォーマルウェアについて学び、ブライダルを含む公式の場、社交の場に相応しい礼儀作法を理解する。										
到達目標	・フォーマルスペシャリスト検定準2級(ブロンズライセンス)合格程度の知識を修得する										
	・様々なフォーマルシーンにおいて、その場に相応しい立ち居振る舞いができる										
授業内容(授業展開)											
時期	コマ数	授業内容									
4月	3	フォーマルウェアの定義 フォーマルウェアの役割と展望 装いの意義とルールとシーン ・服装の2つの意義「機能性」「社会的表現手段」 ・服装の5分類の役割とルール・フォーマルウェアの歴史									
5月	4	・国際化時代に合った日本人のスタンダードを ・装いの基本「TPO」 ・フォーマルウェアの着用シーン 期待できる今後のマーケット ・時代性と多様に存在するフォーマルシーン フォーマルウェアの常識 昼、夜の区分									
6月	4	フォーマルウェアの着装基準 ・様々な「慶事シーン」 「弔事シーン」 フォーマルウェアのドレスコード 昼・夜、正・準・略礼装のドレスコード									
7月	1	検定対応対策 									
9月	2	復習・テスト 検定対応対策 									
留意事項											
教材、資料等	教科書:『フォーマルウェア・ルールブック』、発行:日本フォーマル協会 参考文献:『フォーマルウェア スタイルガイド』、発行:日本フォーマル協会(2011)										
評価方法 対象・比重	定期試験70%、課題20%、プレゼンテーション10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ブライダル科												
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○	
授業科目名									総単位時間数				
フォーマル									19				
担当教員	北崎 秀子				科目区分	講義	70%	演習	30%	実習			
授業目的	セレモニーの企画・運営に必要な知識と技術を修得するために、主にフォーマルウェアについて学び、ブライダルを含む公式の場、社交の場に相応しい礼儀作法を理解する。												
到達目標	・フォーマルスペシャリスト検定準2級(ブロンズライセンス)合格程度の知識を修得する												
	・様々なフォーマルシーンにおいて、その場に相応しい立ち居振る舞いができる												
授業内容(授業展開)													
時期	コマ数	授業内容											
10月	4	フォーマル検定対応 模擬テスト											
11月	4	フォーマル検定直前対策 ブライダルのドレスコード											
12月	3	フォーマル小物・アクセサリーについて 和装の礼装について									12月、1月 インターンシップ		
1月	3	フォーマル素材 素材別特徴											
2月	3	アイロンの使用 縫製の違いについて クリーニング・しみ抜きについて											
3月	2	復習・まとめ											
留意事項													
教材、資料等	教科書:『フォーマルウェア・ルールブック』、発行:日本フォーマル協会 参考文献:『フォーマルウェア スタイルガイド』、発行:日本フォーマル協会(2011)												
評価方法 対象・比重	定期試験70%、課題20%、プレゼンテーション10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。												



学科名	ブライダル科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名								授業時間数				
ブライダルビジネスコミュニケーション								20				
担当教員	徳永隆裕				科目区分	講義	70%	演習	30%	実習		
授業目的	ブライダル業界で仕事をしていくうえで、業界や起用の仕組み等について知り合わせてお客様と接する際の知識を											
	豊アにする											
到達目標	企業内での会話やアお客様との会話に必要な社会の成り立ちや仕組みについて理解する											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目ガイダンス</li> <li>1. 社会の成り立ち <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)企業の役割</li> <li>(2)会社の形態</li> </ul> </li> <li>法人とは、会社形態、経営理念、経営指標(売上高、費用、利益の概念)</li> <li>企業と地域の関わり</li> </ul>										
11月	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>2. 企業の事業活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)マーケティングについて</li> <li>マーケティングとは、マーケティング4P、マーケティングミックス</li> <li>(2)プロモーション活動</li> <li>概論、目的、プロモーションツール</li> </ul> </li> </ul>										
12月	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>(3)消費者の購買行動</li> <li>購買行動モデル</li> </ul>										
1月	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>(4)Webマーケティング</li> <li>EC, オムニチャンネル、アフィリエイト 等</li> </ul>										
2月	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画書について</li> <li>企画書の役割、企画書の構成 等</li> <li>・作成演習</li> </ul>										
3月	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画プレゼンテーション</li> <li>パワーポイント、プレゼン演習</li> <li>・期末テスト</li> </ul>										
留意事項												
教材、資料等		・講義をベースに演習を組み合わせる。新聞及びネット記事等の使用										
評価方法 対象・比重		*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ブライダル科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									総単位時間数			
ホスピタリティ									18			
担当教員	萱島 成美				科目区分	講義	50%	演習	50%	実習		
授業目的	ホスピタリティやマナーの理解し、思いやりのある言動ができるようになる。											
	どのような場面でも、積極的に、且つ、自信をもって振る舞うことができる。											
到達目標	実践を通して、ビジネスマナーの基礎、基本の習得。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	4	後期授業の全体スケジュールと目標										
		プランナー業務を通してのマナー演習										
		・お客様案内、お茶出し										
		・打ち合わせ実践演習										
11月	4	新規接客応対、要望確認等、話し言葉や所作、姿勢等を実践を通して学ぶ										
12月	1	※インターンシップ研修あり										
1月	1	※インターンシップ研修あり										
		外部講習①										
2月	2											
		外部講習②										
3月	2											
		自己啓発 まとめ										
計	18											
留意事項												
教材、資料等	随時、資料を配布。											
評価方法 対象・比重	評価テスト50%、提出物25%、取り組み姿勢25% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科3年、ファッション流通ビジネス科年、ブライダル科1年											
分類	必修	○	選択		学年	1,3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
一般教養									19			
担当教員	徳永隆裕				科目区分	講義	70%	演習	30%	実習		
授業目的	社会人として要求される一般常識及びヒューマンスキルを身につけ、併せて就職試験で求められる一般教養試験へ対応できるようにする。											
到達目標	就職試験で課される一般教養試験(国、数、英、社、時事等)で60%以上の得点が取得できるレベルと、SPI 試験の内容の理解。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>科目ガイダンス</li> <li>就活の心得 年間スケジュール、就活サイトの活用等</li> <li>自己分析</li> </ul>										
11月	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業研究 会社形態、会社組織、企業理念、経営指標等</li> <li>業界研究</li> </ul>										
11月 12月	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>SPI対策 問題解説、筆記テスト対策</li> </ul>										
1月	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>履歴書対策</li> <li>面接対策 演習 等</li> </ul>										
2月	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループディスカッション</li> <li>業界研究</li> </ul>										
3月	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>面接、GD個別指導 等</li> <li>期末テスト</li> </ul>										
留意事項												
教材、資料等		テキスト、新聞・ネット等からの業界及び企業情報										
評価方法 対象・比重		*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ブライダル科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名								総単位時間数				
空間デザイン/フラワーコーディネート								15				
担当教員	増田綾子・徳永隆裕				科目区分	講義	35%	演習	40%	実習	25%	
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新郎新婦の要望に応じたフラワーコーディネートを行える</li> <li>・食空間コーディネートの基礎を学び、応用として結婚式場の空間デザインの知識を習得する。</li> <li>・テーマに合わせた空間コーディネートを演習を通して習得し、インターンシップで実践する。</li> </ul>											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花に関する基本的な知識を習得し、ブライダルにおける花の役割、効果を理解する</li> <li>・テーマに合わせたウインドウやホワイエのディスプレイ演習を行い、食空間コーディネートの基礎を習得する。</li> </ul>											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	3	ブライダル装花紹介 生花の基礎知識(出荷時期、取扱)										徳永
												増田
5月	5	生花以外の花の紹介(ドライ、プリザーブド、アート) 実技(ゲストテーブルフラワーアレンジメント) 実技(クラッチブーケ) 実技(ラウンドブーケ)										増田
6月	3	食器について <ul style="list-style-type: none"> <li>・陶磁器/焼物</li> <li>・陶器と磁器の実物に触れ、その違いを知る。・素材と材料、制作方法、焼成窯について知る。</li> <li>・日本や九州の代表的な焼き物について知る。</li> <li>・漆器</li> <li>・うるしについて知り、漆器がどのように作られているか知る。・漆器の種類を知ると共に漆器の取扱い方を知る。</li> <li>・ガラス・引き出物の器</li> <li>・ガラスの種類、ガラス工芸の手法について知る。・その他工芸の種類について知る。</li> </ul>										徳永
7月	2	パーティ空間事例研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテル、専門式場などの空間演出について</li> <li>・ブライダルフェアの見学</li> </ul>										増田
8月		夏休み										
9月	2	イメージ別コーディネートの演習 まとめ 音響と照明について <ul style="list-style-type: none"> <li>・音響機材、照明機材の基本的な知識と取り扱い</li> <li>・音響及び音響効果(BGM)の実践研究・発表</li> <li>・著作権について</li> </ul>										増田
												徳永
		9月 前期評価テスト										
留意事項												
教材、資料等												
TALK食空間コーディネーターテキスト3級・TALK食空間コーディネーターテキスト2級												
評価方法 対象・比重												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価テスト60%・課題演習30%・取組姿勢10%</li> <li>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。</li> </ul>												

学科名	ブライダル科											
分類	必修	○	選択		学年	1	年	学期	前期		後期	○
授業科目名								授業時間数				
空間デザイン								20				
担当教員	増田 綾子 ・ 北崎 秀子				科目区分	講義	35%	演習	40%	実習	25%	
授業目的	食空間コーディネートの基礎を学び、応用として結婚式場の空間デザインの知識を習得する。 テーマに合わせた空間コーディネートを演習を通して習得し、インターンシップで実践する。											
到達目標	テーマに合わせたウインドウやホワイエのディスプレイ演習を行い、食空間コーディネートの基礎を習得する。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	4	イメージに合わせた空間コーディネート演習 秋のコーディネートバリエーション ・ハロウィン小物や花の組み合わせ										
11月	4	冬のコーディネートバリエーション ・色彩を掘り下げる										
12月	3	クリスマスのコーディネート ・キャンドルやオーナメントのあしらい方										
1月	3	新春のコーディネート ・お正月の花のあしらい										
2月	4	バレンタインデーのコーディネート  ※卒業企画発表において会場装飾、コーディネート補佐										
		3月2, 3 後期評価テスト										
3月	2	個人別テーマによるコーディネート まとめ										
留意事項												
教材、資料等												
TALK食空間コーディネーターテキスト3級・TALK食空間コーディネーターテキスト2級												
評価方法 対象・比重												
・評価テスト60%・課題演習30%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。												

インターンシップ

